

# 広報常任委員会行政視察および 全国町村議会広報クリニック報告

## 広報常任委員会行政視察

期 日：令和8年2月19日(木)

午後1時00分～午後3時00分

調査内容：議会広報について

調 査 先：神奈川県足柄上郡山北町

出 席 者：広報常任委員6名

説 明 者：山北町議会4名（山北町議会 瀬戸恵津子議長、富田陽子広報委員長、高橋純子広報副委員長、議会事務局長同席）

## 全国町村議会広報クリニック

期 日：令和8年2月20日(金)

午後1時00分～午後5時00分

開 催 地：全国町村議員会館（東京都千代田区）

出 席 者：広報常任委員6名

講 師：一般社団法人日本経営協会講師／元小美玉市行政職員  
中本正樹氏

# 国見町議会

ページ

蒲 倉 孝	委員長	1
小 林 聖 治	副委員長	3
山 崎 健 吉	委員	5
渡 辺 勝 弘	委員	7
八 卷 喜治郎	委員	8
齋 藤 樹	委員	9

令和 7 年度 全国町村議会広報研修会  
および 神奈川県足柄上郡山北町議会行政視察

報 告 書

令和 8 年 2 月 27 日

国見町議会議長 山崎健吉 様

国見町議会議員 蒲倉 孝

【日時】

令和 8 年 2 月 19 日(木)～2 月 20 日(金)

【場所】

1. 神奈川県足柄上郡山北町役場 (401 会議室)
2. 全国町村議員会館 (東京都千代田区一番町 25 番地)

【報告】

1. 山北町議会行政視察

① 町の概要

- ・ 人口 ; 約9,083人 (令和 8 年 2 月 1 日)
- ・ 町域の約 9 割を丹沢山塊が占める
- ・ 神奈川県民の「水がめ」として丹沢湖・三保ダムを備え、「中川温泉」や日本の滝百選でもある「酒水の滝」、西丹沢の登山やキャンプなど豊かな自然を活かした観光の町として年間約 150 万人が訪れる

② 広報広聴委員会の特徴

- ・ 議員 12 名が 4 年任期委員になり、  
「情報発信」の広報班 … 編集  
「聴く活動」の広聴班 … 声を拾う  
に分け、編集から町民との対話まで一貫した活動を全員で取り組んでいる
- ・ 令和 5 年度第 38 回広報コンクール 言語・文章部門「奨励賞」受賞
- ・ 令和 6 年度第 39 回広報コンクール 表紙デザイン賞「金賞」受賞

③ 広報紙「議会のおと」編集

- ・ 広報モニターアンケート等により名称を変更  
議会のおと ⇒ 議会のノート & 議会の音
- ・ 町民が主役の紙面づくり
- ・ 特集ページの設置
- ・ 広報モニター制度の導入 … 令和 2 年 4 月～ / 任期 2 年  
議会全体のモニターではなく「広報紙のモニター」  
意見交換会は年 1 回の開催にし、年 4 回のアンケート回答は Google フォームを活用している

④ 広聴班の取り組み (おしゃべり Café)

- ・ 平成元年(2019 年)8 月から開始し、町民との意見交換の場を増やす目的で、現在は「出張おしゃべりカフェ」を行っている

⑤ これからの広報紙がめざす方向性 ⇒ 「読む人を選ばない」広報紙へ

- ・ 小学生でも読めるように「ふりがな」や「注釈」を入れる

- ・ 広報広聴活動のさらなる進化へ

デジタルツールの活用／「出向く」広聴活動の定着／確実なフィードバック

## 2. 令和7年度町村議会広報クリニック（第2分科会）

「講師」；（一社）日本経営協会講師／元・小美玉市(旧・美野里町)行政職員

中本 正樹 氏

「プログラム」

読まれる議会広報誌は ⇒ 心を動かす仕組みを用いている

読まれる議会広報誌は ⇒ 心を動かす技術を磨いている

議会広報誌添削クリニック ⇒ 宮城県柴田町・宮城県女川町・福島県三春町

### ① R6 町村議会広報全国コンクール審査方針(抜粋)

- ・ 編集体制 … 住民との「かかわりしろ」
- ・ 企画、編成 … 住民のニーズと合致／住民の声の掲載／常に新しい取り組み
- ・ 編集、デザイン … 目を引く表紙デザイン／トップ記事のインパクト
- ・ 言語、文章 … 難しい専門用語に注釈をつける／「役所のことば」を言い換える
- ・ 表紙デザイン … 議会広報誌にふさわしい表紙デザインか

### ② 心を動かす広報

- ・ ゴールを意識して作ること … 読んだ人が自発的に行動する、発信する
- ・ 誘発ポイント … 想定外のアイディア
- ・ 刺さる広報 … 「え、それって私のこと？」⇒ 共感の形成

### ③ 取材って何だろう？ ⇒ “人の話をちゃんと聴くこと”

- ・ おとなりトーク … 席替えをして他の町議員と話す実践研修  
女川町議会議員 宮坂千尋 様 / 阿部律子 様  
三春町議会議員 遠藤亮子 様
- ・ 対話の姿勢を身につけよう … 聴す「ゆるす」 ※ 昔は庁舎＝廳舎  
どんな意見でもいったん受け止める／あなたはそうなのねと受け止める
- ・ 写真 … 写っている人には掲載の許可 ⇒ 肖像権

### ④ やってはいけないデザイン

- ・ いろいろな色 … ベースカラー70%：メインカラー25%：アクセントカラー5%
- ・ 意味のないレインボーカラー／ドロップシャドウ／縦横がバラバラ／余白なさすぎ

### ⑤ 議会広報誌添削クリニック

- ・ 宮城県柴田町 … こんにちは！しばた議会です
- ・ 宮城県女川町 … 議会だより おながわ
- ・ 福島県三春町 … みはるぎかい ⇒ 町民「5歳」の手書き

## 【所感】

- ・ 広報の行政視察へ向う議会は、ほとんどが「議員が出向いて」町民と話しをしています。昨年も提案しておりますが、再度議員の皆さまへ提案いたします。
- ・ 毎回、新しいアイディアや広報紙編集の知識を習得させていただいております。今後も、定期的に行政視察および研修会に参加し、より良い「国見町議会だより」をお届けいたします。

以上

令和7年度全国町村議会広報研修会  
神奈川県山北町議会現地視察 報告書

令和8年2月28日

国見町議会議長 山崎健吉 様

国見町議会議員 小林聖治

日 時 令和8年2月19日（木）午後1時00分～3時00分

場 所 神奈川県山北町役場

調査事項 広報の編集について

調査内容 山北町議会の「議会だより」の編集について説明を受け、  
優れているところを意見交換した。

感 想

議会だよりの使命について、町民に町政全般を広く知らせ、理解を  
してもらうことであるが、これからはSNSでの広報の進化キーポ  
イントになってくると思う。

山北町議会の議会だよりの優れているところは、議会と町民双方で  
つながる「おしゃべりカフェ」の実施など、議事関係の記事だけでな  
く、議会関係の情報をくまなく発信している点にあると考えられた。

さらに、町政に関するモノばかりでなく、議員個人の人柄、パーソ  
ナリティーを丁寧に掲載するなど、表現体裁をソフトに明るく、特集  
ページの掲載なども含めて全体的にクオリティが高かった。

それは、変えることを恐れずに、常に新しい感覚を取り入れて実践  
していることの証左であると思われる。

今回、山北町議会の議長さん、広報委員の皆さんとの貴重な意見交  
換をする機会を得て、国見町議会の議会だよりを、新たなフェーズに  
向けて、さらにグレードアップしていこうと強く思った。

日 時 令和8年2月20日(金) 第2分科会

場 所 全国町村議員会館

調査事項 ①読まれる議会広報誌について

②議会報クリニック

一般社団法人 日本経営協会

中本 正樹 氏

### 調査内容

- ① 読まれる広報誌について、心を動かす編集体制や企画・構成、編集・デザイン、言語・文章、表紙デザインなど講演を通じて研修した。
- ② 議会報づくりについて、その企画、編集のノウハウを、3つの自治体の議会報を参考材料にして研修した。

### 感 想

- ① こちら側（議会側）から伝えたいことと、住民が見るかどうかを判断する順番が、著しく乖離していることに目を覚まされた。  
とくに、住民が見る順番にレイアウト→写真→タイトル→リード文→本文の順で、まさにその通りだと思った。さらに近年、選挙対策の手法として、新しい広報媒体のLINEやInstagram、T i k T o kなどの活用が、特に若者の間で有効になっていることから、QRコード→SNS誘導など多様な広報手法についても、わが町議会の議会だよりでも挑戦してみたい。
- ② 今回、女川町議会など3つの自治体の議会報を参考に、講師から説明・指摘を受けましたが、それぞれ特色のある企画、編集をされており、いわゆる編集の仕方如何では、読んでもらえる、手に取ってもらえる議会広報誌の可能性を教えてもらった価値のある研修でありました。  
以上、報告を終わります。

視察研修(広報常任委員会)

令和8年2月21日

国見町議会議長 山崎 健吉様

報告者 山崎 健吉

【実施日】令和8年2月19～20日

【場 所】山北町議会 神奈川県足柄上郡山北町  
町村議会広報クリニック 全国町村議員会館(東京都)

【参加者】広報常任委員6名・事務局

【研修項目】山北町議会との意見交換及び全国広報クリニック研修

●山北町議会広報広聴委員会との意見交換会(2026.2.19)

初めに議長より山北町の概要説明があり、人口は約9700人で年間の減少率は8.9%と少子高齢化が進んでおり、神奈川県といえども郡部は、当町と同じように傾向にある。議員定数は12名で内5名が女性議員である。当町でも昨年から実施している委員会は条例により2年ごとに交代している。議長・副議長も2年交代で、昨年からは女性の議長となり議会運営を行っている。議会広報誌は令和5年に全国広報コンクールで奨励賞を頂くなど、町民に見て頂く広報誌を目指している。山北議会は広報モニターを町民に委嘱し、その活動も活発で、モニター経験者の議員が現在2名になったとのこと。募集方法は現職議員が積極的に推薦することになっているとのこと。また議会活動のなかに「おしゃべりCafe」を隔月に地区毎に実施し町民との対話で地区ごとに抱える課題を議会活動へと生かしているとのことである。

●全国町村議会広報クリニック研修(2026.2.20)

中本正樹氏(日本経営協会講師・元茨木県小美玉市職員)から読まれる議会広報誌は、どのように心がけなければならないかの講義があった。

以下3項目についての議員との交歓会と講師によるアドバイスを受けた。

- ① 心を動かす仕組みを用いること。⇒読んだ人の心を動かす仕組み入れる  
・読んだ人が自発的に行動する発信を取り入れる(ゴールを意識して作ること)
- ② 心を動かす技術を磨くこと。⇒インタビューのコツ・写真・デザイン  
・町民との取材等を積極的に行い、目に付く写真やデザインを活用する。
- ③ 議会広報誌添削クリニック(福島県三春町・宮城県女川町・宮城県柴田町)  
3町の広報誌を講師により、詳細に渡りいい面、改良すべき点を指摘され今後の広報誌づくりに役に立つ指導を受けた。

#### 【感想】

山北町議会との意見交換は、過去に奨励賞も受賞した広報誌で、今後の当町の紙面づくり大いに参考になった。特に「おしやべり Cafe」を隔月に地区毎に実施し地区ごとに抱える課題を議会活動へと生かしていることは、大変参考になった。また、議会広報モニター制度を活かし、議員発掘に結び付けたことは、当議会が目指していた目的の1つでもあり、意見を参考に活かして行きたいと思います。

全国広報クリニック研修は、議会広報誌を町民に見て頂くためには、どのようなテクニックが必要か、また写真の撮り方等、技術的なことについての研修を受けた。町民は何を広報誌に期待しているかを、発刊ごとに議論し目に付く表紙を作り、内容についても、標題を見ただけで読みたくなるように工夫することが必要である。一般質問では、町民は行政側の答弁が聞きたいので、質問者の内容は簡素にすべきである。また、文字数を考慮してぶっきら棒な文章になることが多いが「です・ます」調で文章を作成した方が読みやすい。今後はこれらも参考に紙面作りに活かして参ります。

以 上

# 令和8年広報研修・行政視察報告書

令和8年2月23日

国見町議会議長 山崎 健吉 様

報告者 渡邊勝弘

日時 令和8年2月19日(木)～20日(金)

調査地 神奈川県足柄上郡山北町

調査内容 (1) 山北町の議会広報編集について

初日は神奈川県足柄上郡山北町議会を視察いたしました。瀬戸恵津子議長より歓迎挨拶後、富田陽子広報委員長から事前質問事項についての説明と高橋純子副委員長により広報紙発行に関する資料を基に大幅なリニューアルを行っている。町の広報誌と変わらない紙面や内容では取って読んでもらえないのでは意味がないことであることから、町内にたくさんあるカフェめぐりを企画して議員自ら出向き、おしゃべりして話を聞きテーマ性をもって情報を収集して少ない予算で制作をしている。表紙は地域で頑張る人々の自然な笑顔を撮影して親しみやすい「議会だより」になっている。また、モニター制度についても、住民の声を丁寧に拾い上げ、まずは話を聞くことからはじめ町民の要望に合う時間帯を設け来やすい雰囲気を出している。いずれは、議員になってもらえる状況あると考える。女性ならではの感性と行動力にはかなわない。今後は、議会独自出向く活動を行い広く若者・町民からの情報を得なくてはならない。徹底して議員一丸となって取り組んでいる議会広報でした。最後にお忙しい中、対応してくださいました山北町議会広報常任委員会に御礼を申し上げまして報告と致します。

2日目は全国町村議員会館にて広報クリニックに参加致しました。講師は日本経営協会 中本正樹氏でした。まずは、マンネリ化・パターン化した広報紙をいかに読んでもらうために、工夫を凝らした特集記事やQRコード(SNS誘導)など、インタビューを活用した記事を題材に広報誌を考えるべき。山北町のように議員自ら参画することから始まる。そのためには地域に密着した題材を選び、イベント開催情報などは写真だけではなく、住民参加の紹介などや主催者の感想・苦労などを入れるとマンネリ化した広報誌から脱却できる。また、今回初めて対話型の研修でして、他の市町村の広報誌を自ら感じる事を知らない相手と話を聞く・会話をすることが勉強になり今後の広報活動に役立つ講習会となりました。

## 広報常任委員会視察研修・議会広報クリニック報告

議会議員 八巻喜治郎

2026年2月19日、20日の2日間にわたり、東京・神奈川方面に議員研修に参加いたしましたので報告をいたします。

一日目の2月19日の視察地は神奈川県山北町でありました。山北町議会で発行している議会だより（議会のおと）は、令和5年度町村議会広報コンクールにおいて奨励賞を受賞し、令和6年2月に全国町村議会より表彰を受けており、全国各地より広報広聴活動などをテーマとした視察希望が相次いでいる議会でありました。

私たち国見町議会は、広報常任委員会として主に情報を発する事が主体であるが、山北町議会では広報広聴委員会という形をとり、議長を除く全議員が広報公聴委員となっています。そして、情報発信（広報班）と聞く活動（広聴班）に分かれて活動しているとの事です。特に広聴班は、「おしゃべり café」を開催して住民対話の活動（2か月に一度）をしていたのが印象的で、議会と住民との距離が近いと感じました。

山北町議会の広報誌は読む人を選ばない広報誌を目指しております。広報公聴活動で大切にしていることは、住民の目線、双方向性、継続性、工夫と改善を重ねて全世代(子育て世代・働き世代・若者)に届く広報活動をしていることであった。説明を聞き大変に学ぶものが多かった。

二日目は、東京の全国町村議員会館において開催された「令和7年度町村議会広報クリニック」の第2分科会であった。内容は広報誌の作り方の全般にわたっての研修であった。講師は素晴らしい方だと思われるが内容の一部に疑問を感じる部分もあった。

広報クリニックは、伊達郡桑折町議会でも同じ会場で研修を受けていた事が印象的でありました。私は2日間の研修を受けて得るものが多かったと思います。今回の成果を今後の町議会活動に反映させて行きたいと思います。

## 広報常任委員会行政視察・全国町村議会広報クリニック

広報常任委員 斎藤 樹

### ①広報常任委員会視察研修（神奈川県足柄上郡山北町議会）

山北町は、神奈川県と山梨県の県境付近にあり、庁舎からは富士山を望むことができる。

女性議員は、議員定数 12 人に対して 5 人おり、また、女性議員が議長を務めている。これには大変な驚きと同時に感動した。

広報モニター制度を導入し、住民の声を丁寧に拾い上げている。また、意見交換会を開催し住民参加を促進するなど、広報広聴委員会の取り組みに感動しました。

### ②令和 7 年度町村議会広報クリニック

研修においては、紙面を「見る」から、「読む」→「心を動かす」→「行動する」ことを意識すること、また、いかにいい写真が撮れるか、人物写真の撮影のテクニックについても学んだ。

読者の「心を動かす仕組み」を利用した紙面づくりを意識したい。

心を動かす仕組みを用いている様に努力します。